

地方独立行政法人の年度計画及び自己評価のあり方について(案)

平成24年7月23日

桑名市保健福祉部

1. 問題の所在

地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会において、地方独立行政法人の平成23事業年度の評価についてご議論頂いた際、事業評価のあり方について検討を加えるよう指摘を受けたことから、桑名市及び地方独立行政法人において検討を行った。

2. 年度計画及び自己評価における問題点について

(1) 年度計画に関する事項

① 中期目標・中期計画との関係

年度計画の項目の中には、中期目標及び中期計画を、より具体化し、指標を盛り込んだ内容となっていないものがあるのではないかと。

② 事業評価との関係(年度計画の項目立てと評価の単位)

年度計画の項目の中には、複数の事項を含むものがあり、事業評価を行う視点に立てば、評価単位としては適当ではないものがあるのではないかと。

(2) 地方独立行政法人の自己評価に関する事項

① 年度計画との関係(その1)

自己評価の判断理由において、年度計画に記述された内容以外の事実を挙げて、地方独立行政法人としての自己評価を行っていることはないかと。

② 年度計画との関係(その2)

(年度計画が評価指標を明記していないことに起因する部分もあるが)達成された成果ではなく、地方独立行政法人の努力・プロセスのみを判断理由として、地方独立行政法人としての自己評価を行っていることはないかと。

3. 対応策(案)

(1) 年度計画に起因する問題については、地方独立行政法人において、平成25年度以降の年度計画案策定過程で、可能な限り対応する。ただし、平成24年度の事業年度は、既に第1四半期を終了していることから、基本的には修正を加えないこととする。

(2) 平成24年度の自己評価の方法については、今後検討を加える。

① 評価の単位(2. (1)②)については、評価の視点に立って改善を図る。

② 自己評価については、可能な限り、年度計画に対応した事実をもって判断理由とする。ただし、これによりがたい場合には、平成23年度事業評価の際の判断理由として挙げた実施状況等に係る事実を基に平成24年度事業評価を行うこととする。この場合において、地方独立行政法人は、可能な限り速やかに、これに該当する項目を示すとともに、平成24年度の目標とすべき評価指数を、評価委員会に対して報告すること。